

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

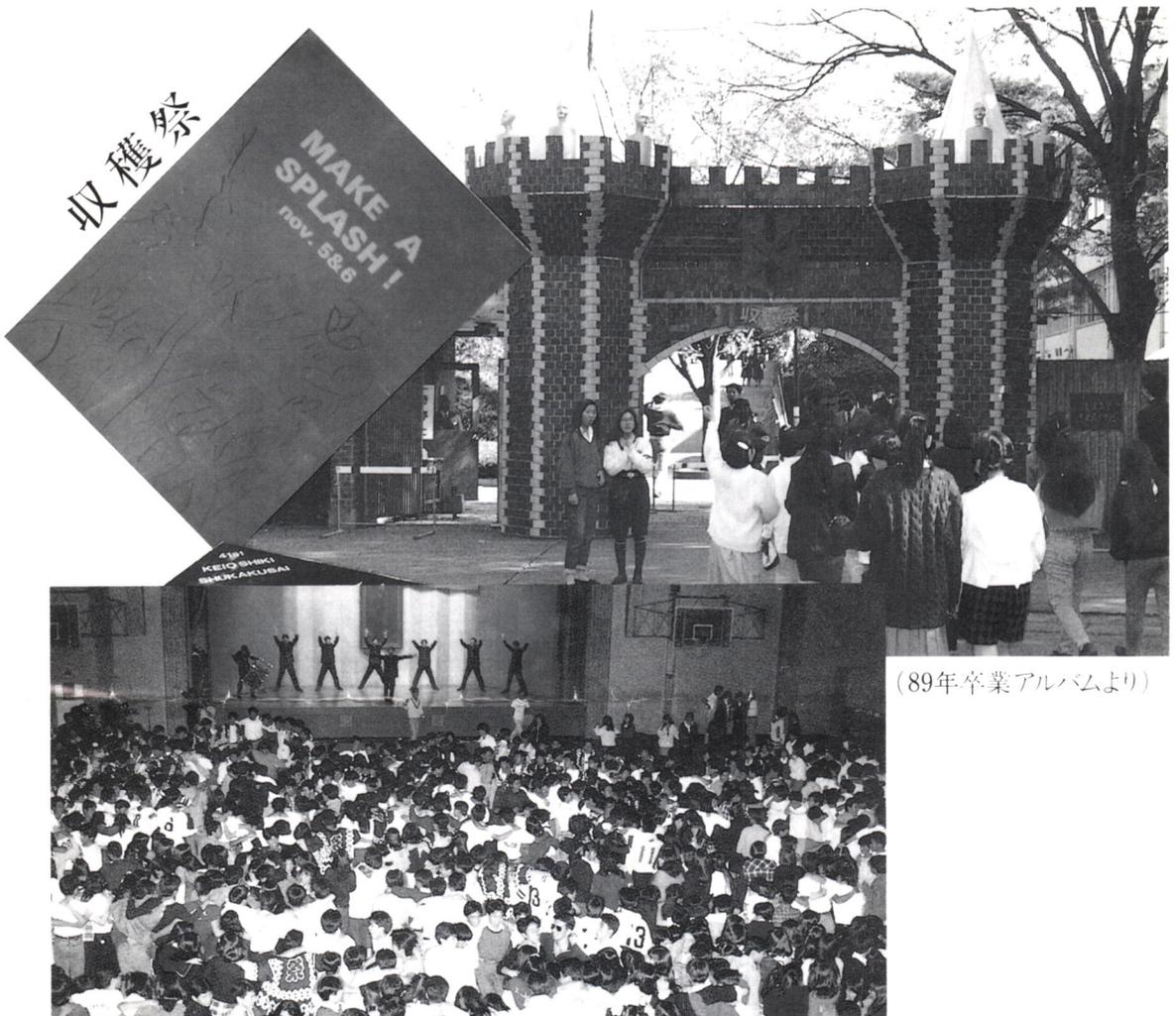
1989(秋・冬号)



vol. 2

志木へ来たれ! 収穫祭へ初参画!

11月4日(土)・5日(日)



講演会 上田昭夫氏(フジテレビスーパー・タイムキャスター)11月5日(日)12:00

福引大会 11月4日(土)・5日(日)

FROM SHIKI

●志木だより

志木高諸行事

創刊号のこの欄を引きついで、その後の半年ほどの学校だよりということになります。とはいっても、卒業生の皆さんに学校の近況を定期的にお伝えするのはなかなか難しいことのように思います。なにしろ生徒諸君は年々入れ替って行きますけれども、学校の日常は1年を周期としてほぼ繰り返されて行くものですから。

今年度は1年生271名(6クラス)、2年生292名(7クラス)、3年生251名(6クラス)でスタートしました。4月から7月まで、運動会・研修旅行・収穫祭などが続く第2期と違ってあまり大きな行事はなくひたすら勉強に励む(?)のがこの時期ということになります。そんな中で行なわれた2・3の行事についてご紹介しましょう。

〈学部説明会〉 6月9日、3年生を対象として文化系各学部と来年度開設の藤沢新学部(総合政策学部、環境情報学部)についての説明会が体育館で行われました。講師としておいていただいたのは——文学部前田富士雄、経済学部塩沢修平、法学部法律学科向井健、同政治学科太田俊太郎、商学部玉置紀夫、総合政策学部井関利明、環境情報学部相磯秀夫——の各先生方でした。経済の塩沢先生は本校卒業生(24期)であることは皆さんご承知のことだと思います。多勢の先生方の話がギッシリと詰った1日でしたが、生徒諸君は熱心に聴講していました。

〈観劇〉 第1回テスト終了後、7月4日に1年生が国立劇場で歌舞伎「鳴神」を、2年生が俳優座で「ウーマン・イン・マインド」をそれぞれ鑑賞しました。

〈志木演説会〉 7月11日、全学年を対象に今回はじめての試みとして志木市民会館ホール

を借りて開催されました。校長の宮下先生に講師をお願いしました。「言葉のはなし—朗読を随所に折り込んだ興味深いお話でした。「ハムレット」の有名な『生か死か』のフランス語訳やドイツ語訳の宮下先生による朗読も見事でした。また少年ジャンプ連載の人気コミック『魁男塾』^{さきがけおとこじゆく}の一場面を2人の俳優さんがかけ合いで演じたくだりには満場拍手大喝采でした。文字——それもほとんどがズバツ、バキューンといった擬音語なのですが——やイラストによって表現された情景がすぐれた語りによって再構成されたわけです。朗読という表現方法がより豊かな言語空間を創りだしていくという魅力を多くの生徒が感じとったようでした。

〈クラスマッチ〉 夏休み前の最後の行事として7月6、7、8、の3日間にわたり全校生徒の参加によって行なわれました。教職員チームもバレーボールとソフトボール部門に参加しましたが、老獪なテクニックだけでは乗り越えられない年令の限界をさとられたようでした。(主事 松崎欣一先生記)

弓道場に巻わら練習場が増設されます。

志木高校の弓道部をご在じでしょうか。クラブ棟(陽光舎)のグランド側にある小じんまりとした道場です。これは、1978年7月にPTAと三田弓友会の御援助で建てられました。高校の弓道場としては他校に遜色のない立派なものですが、独立した巻わら場がないために巻わらを射って型を整える練習は巻わらを道場外に運びだして行なわねばなりませんでした。運び出しの手間も大変ですし外で矢を射ることの危険もあり、巻わら場の設置は永年の課題でした。

この巻わら場が、このたび三田弓友会専務理事の駒木銀三郎氏の御寄付によって道場に

増設されました。加えて、古くなっていた的場の板も新しく張りかえられ弓道場は一段と立派になりました。今後、弓道部の実力を道場にふさわしいものに高めていこうと部員一同はりきっています。（梅地 宏先生記）

六大学付属高校軟式庭球大会開催さる

去る8月4日から8月8日にかけて、東京六大学付属軟式庭球大会が本校テニスコートで開催されました。参加校は本校を始めとし塾高、早大学院、早大本庄、早実、明大明治、法政一、法政二、立教、東大の計十校。この大会は毎年8月上旬に開かれますが、今回は19回大会。団体の部と個人の部に分かれています。団体の部は各校が5ペアずつ出し、十校の総当たりリーグ戦を行います。順位は勝ち点制で決定し、勝ち点と同じ場合は当該校の勝敗で決定するというルールです。軟式庭球は3ペア団体が一般的で、5ペア団体はまれなのですが、その分、オーダーによっては番狂わせが続出します。従って応援合戦にも力が入ります。見学にこられた先生方が、この応援風景をごらんになりびっくりされていました。個人の部は、普通のトーナメント方式です。

今回の結果は、法政二高、明大明治、法政一高の順で、残念ながら本校は六位でした。個人の部もおしくもベスト4を逸し、ベスト8に終わりました。地元という有利さと、当番校としての雑用、気遣いというマイナス面があるのですが、悪い面が多くてたようです。

いままでの最高は団体、個人とも準優勝です。二、三回優勝の機会があったのですが、今一步というところで気の弱さが出ているようです。今年優勝の法政二高は神奈川のベスト4、本校の埼玉での成績はよい時でもベスト16。力の差は歴然としているのですが、前述の5ペア団体という特殊な条件の下では本校が圧勝することもあるのです。毎年、この大会の優勝を目標として練習計画を立てています。部員もこの大会だけはと燃えています。この情熱が続く限り、必ず目標が達せられる

ものと信じています。（龍田正浩先生記）

想い出の寄宿舍・送別の集い

あかあかと燃え上がるファイヤーストームに照らし出された顔・顔・顔、それは表記の会の案内文に“本年度限りで閉舎となる悲しい流れの中で……”を心から愛惜の情を感じて参会された土塊会岡本会長、この会の築山実行委員長、そして新婚ほやほやの田中夫妻、大阪から正木・中島コンビ、岐阜からも愛知からも、ビールと焚火で一段とほてり赤くなった顔には、きこちなさと、あるセレモニーの雰囲気漂い、その後にシルエットで浮び上がらせる高翔寮が25年の歴史の重みを一段と感じさせていた。英国のパブリックスクールの寄宿舍制度と生活を理想に掲げ、有隣寮、高翔寮と命名(故高村塾長による)され25年、卒業生800余人を生み、平成2年3月8人の卒業生を送り出し寄宿舍の閉舎は現実のものとなる。

慶應志木会会員の約一割にも達するこの輝やける人材の中には、鹿児島島の鳥丸四兄弟を初めとし、大阪の大西三兄弟（長兄は出席）、北は留辺薬、南は台湾と寄宿舍の特色を十分に機能させたものであった。閉舎があと3年後であったらば、親子二代の舎生が誕生したものを、しかもそれが土塊会の岡本会長親子であるだけに誠に残念、岡本二世はこの4月普通部に合格され甲子園を目指されておられる。

土塊会の約一割の出席、そして30余人が寮に宿泊されて、送別の集いを夜を徹し心ゆくまで懐しまわれた。暑苦しく忙しい時期にもかかわらず出席を賜りました宮下校長、松崎主事、建部元主事、野口元主事、宿泊まで載きました奥井元舎監、そして大館、大谷、山崎元舎監、茂原からお出かけの森川元寮母さん方、そして岡山の牛窓から銘酒千寿で花を添えて載きました高祖様、この会の為に大勢の方々から、お寄せ載きました御厚情に衷心から御礼申し上げます。

土塊会会員の増々の発展と活躍を祈りつつ。

（舎監 後藤邦吉先生記）

青春の一コマ

収穫祭へ！

早いもので、今年もあの収穫祭の時期がやってきました。昨今は2日間で6000人以上もが集まる行事に発展し、その8～9割が女子校生との事です。今年は11月4、5日の2日間を予定していますが、特に、今回は初めてOBが慶応志木会としてこの収穫祭に参画することになりました。他の学校では見ることのできない、この画期的な企画は必ずや高校生と学校、OBが組むスクラムをより強いものにしていくことでしょう。

ここ志木には皆さんそれぞれが青春を謳歌した、なつかしい思い出がいっぱい詰まっています。きっとその一つ一つが走馬燈のように思い出されることでしょう。皆さん仲間をお誘いのうえ来てみませんか？ミニ同期会もいかがでしょう！疲れたら、OBの部屋にどうぞ。ビデオを見たり、写真を眺めたり。福引もありますから楽しいかぎりです。

**とにかく11月4日、5日は
志木がおもしろい！**

◆OBの部屋は、会議室（教員室の真上）をあてております。

志木会関連 イベント

●講演会

講演者 上田 昭夫氏予定

（元慶応ラグビー部監督、現フジテレビ ニュースキャスター、スーパータイム月～金）

日時 11月5日（日）12：00

場所 体育館（入場無料）

主催 志木高収穫祭実行委員会

協賛 慶応志木会

●福引大会

場所 OB集会所 於志木高会議室

日時 11月4日、5日の2日間

※空くじなし、豪華商品が多数用意されています。

●総会で大好評でした、記念ネクタイや記念ビデオなどの販売も予定されています。当日は創立総会時の記念スナックも販売される予定です。

連合三田会へ志木会として初参加！

11月12日（日）日吉に於て志木会の集会所も用意されていますので奮ってご参加下さい。集会所の場所は当日のパンフレットをご覧ください。

時代のパッケージづくりをリードしつづける

ガラスびんとハウスウェアの総合メーカー

NO1

 東洋ガラス株式会社

Taste Better In Glass Packaging

本社〒100東京都千代田区内幸町1-3-1（幸ビル） 東部営業部 ☎(03)508-0323 / 西部営業部〒530大阪市北区曾根崎新地2-6-12（小学館ビル） ☎(06)344-0850代 札幌営業所〒060札幌市北区北六条西6-2-24（第二山崎ビル） ☎(011)717-0231 / 仙台営業所〒980仙台市青葉区一番町2-3-22（仙台ビル） ☎(022)222-0551 名古屋営業所〒460名古屋市中区栄1-6-14（御園座会館） ☎(052)221-6565 / 広島営業所〒730広島市中区鞆町13-14（新広島ビル） ☎(082)227-7551 / 福岡営業所〒812福岡市博多区博多駅南1-10-5（第二博多借成ビル） ☎(092)471-1611

部活・クラブ・サークル・寄宿舍だより

“サヨナラ寄宿舍”

—想い出の寄宿舍
送別の集い—

土塊会会長 岡本經世



来年3月の閉寮を前に、寄宿舍への惜別の念を込めて、高翔寮に一泊して青春の一日を想い起こそうという会を開催した。

7月15日(土)、宮下校長、松崎主事、大館先生、建部先生、後藤舎監はじめ、引退された野口先生、奥井先生、森川寮母さん等を囲み、寄宿舍同窓生約40名余が全国各地から駆けつけ、パーティーでは、当時は許可されなかった酒を飲みタバコを吸い、キャンプファイアーを囲んで、和やかに思い出話に花を咲かせた。何年たっても、文字通り同じ釜の飯を食った仲間とはよいものだ。

「寄宿舍生が、私の宝物、財産だ。」と、永年舎監としてお世話下さった後藤先生が、手づから作って下さった素麵ソウメンの夜食が美味しかったこと。感激で涙が出る程つちくだった。

寄宿舍同窓会の名は「土塊会」というが、その名の由来についてのつちく大館先生のお話を、

ここに引用させていただく。

「寄宿舍発足の昭和40年頃の志木には、土の匂いが漂っていた。土は生物にとって生活の母体であり、水や養分を貯え与える培地である。又、土器や美術品もみな一塊の土くれから出来ている。寄宿舍生一人々は一塊の土くれのようなものだが、やがて社会に於て、自ら培地となって、人のため社会のため役立つ名器、大器となってほしい」と、いう願いを込めて名付けられたものである。

閉寮は大変残念で淋しいことではあるが、何時どこにいても、この精神を忘れずにいたいと思っている。

尚、閉寮に当って記念誌作成のため、寮生活の思い出等についての原稿を募集します。奮って御投稿下さい。



都市再開発事業の企画並びに設計
不動産の売買並びに仲介



株式会社

アパランドシステム研究所

一級建築士事務所

東京都中央区銀座7-3-13 ニューギンザビル
〒104 TEL.(03)574-1981代 FAX.574-1385
会議室 TEL.574-0948-0968

専務取締役 菅原 武 (第7期卒)

同期会だより

2期 昨年11月の慶応志木会で諸兄と田交を暖め合ってから早や約9ヶ月、会報VOL.1「同期会だより」に同期会開催について書きましたが、浅川浩、佐藤弘司、中村孟、保田稜司諸兄と打合せを重ねて、いよいよ10月に開催することになりました。総会にやむをえず出席出来なかった諸兄にも当日の雰囲気味わっていただくべく、パーティのビデオを放映等もいたしますので、諸兄お誘いの上多数のご参加をお願いいたします。

〈2期同期会〉

日時：10月26日（木）PM6時30分より

場所：港区新橋2-4-2

新橋亭別館 TEL：03-580-2211

尚、今後諸兄との連絡を密にしたいと思いますので、下記の幹事を連絡先といたしました。

浅川 浩 0484-62-0085 保田稜司 0471-84-6744

佐藤弘司 03-234-0310 鴻田一章 03-955-4731

中村 孟 0466-36-5451 (勤務先) 03-256-0561

(鴻田記)

5期 5期の卒業生を中心に、ゴルフ会「100 club」がありますのでご案内致します。この名の由来は、昔鍬をもち、堆肥をまいたあれである——「お百の会」なのである。鍬を持つ手をゴルフクラブに代えて、15年前にスタートした。この会も、この9月12日で50回をむかえた。年間4-5回のコンペと年

2回のタウンミーティングは、いつも昔ながらの顔が集まる。コースは東京ゴルフ倶楽部以外では行なわない。ルール・マナーを尊ぶジェントルマンの新参加はいつでも歓迎致します。ご連絡下さい。

幹事 伊藤憲之介

7期 7期は人生の折返し50歳を越え益々社会の各方面で活躍しております。市川司君は昭和鋼業(株)の専務さんとして活躍中、過日羽田空港で偶然会いました。

磯部守君は日本に居るより海外の方を生活の拠点にして居る様子で、最近グアムの“リーフホテル”前に(とん通)と云う和食店を開店した由、グアムに出掛けたら是非寄して下さい。

笹島雅彦君は勤務先のCFCセンターの組織変更で超多忙の由、7期幹事のピンチヒッターを募集中、どなたか応援をお願いします。

土屋温男君の住む伊東市はこの所、大火・噴火と災難続きですが、お元気の様子、一日も早く落ち着くよう祈っております。

原田稔保君、ゼネラル石油の札幌支店長として3年間活躍しましたが、今度は福岡支店長になりました。

横地延義君、凸版印刷(株)の名古屋から東京営業部長になりました。以上9月10日現在判明している同期生の近況をお知らせします。11月5日の収穫祭には是非とも参加下さい。同期会も開催したいと思います。

(多田 毅記)

レストランバー **SEPIAN**



株式会社 新橋岡本

岡本 哲 (12期)

東京都港区新橋1-18-11

(一松ビルB1)

☎580-7688

11期

現在、私達11期「遊志会」のメンバーは総勢188名。当会はS.52年、数名が集まり「志木で遊んだ仲間が、これからも遊びを志して」と云うことから「遊志会」と命名されスタートしました。その後、年々拡大し発展してきております。最近では、タイムリーなテーマを扱った「セミナー」も始まり、年に6～7回位の楽しい催しを行っております。

5/7 第35回ゴルフコンペ 厚木国際CC
優勝：野村昭 2位：池田信彦 3位：駒月昭雄
17名参加

5/19 第10回セミナー 味の素川崎工場及びアサヒビール東京工場の見学会

「おいしいものを食べる時、人は打ち解け一つになります」が印象的。 10名参加

7/8 第36回ゴルフコンペ 成田スカイウェイCC
優勝：後藤敬一 2位：佐藤直司 3位：池田信彦
ドイツ帰りの望月君が久しぶりに参加しました。 22名参加

9/1 夏の夜の納涼屋形船 お台場沖

11/17-18 第37回ゴルフ大会及び忘年会を神奈川県鶴巻温泉で予定しています。

*私達11期生は慶応大学卒業25周年にあたり当番年度として来年3月の慶応大学卒業式に招かれております。皆様多数のご出席ご協力をお願いします。 (馬淵 記)

12期

「志木会」発足を機に、それぞれ昔の仲間との旧交があたためられ、有志によって、いくつかの“ミニ・同期会”が随時行なわれている。それらは、仕事上の情報交換の会合であったり、楽しい飲み会、健

康的なゴルフ会といった、バラエティに富んだものである。また、まだその詳細は決まっていないが、この秋には、同期会開催を予定しており、一人でも多くの参加を得られるよう、計画立案中である。(岡本・朝倉 記)

17期

「のびDEメイト'66」同窓会 後記
会長 村井 誠

我々17期は9月2・3日、岐阜の有志(松久、林、山田君)のお陰で、第3回同窓会を岐阜長良川ホテルで開催することができました。名門岐阜関ゴルフクラブでのコンペと「鵜飼」を楽しみに、全国から20数名が参加しましたが、日頃の行いを反映してか、中部地方は、朝から集中豪雨、雨中の決闘の末コンペは、幹事松久君が優勝し中部財界人はしっかりしていることを証明しました。

それではと思っていた「鵜飼」も雨のせい、か、予約の手違いか?、中止とあいなり、松久君のビールの「ウガイ」を号令に宴会に突入しました。四橋君達岐阜の後輩が、いくつになっても埋めることができない上下関係をボヤきながらも、岐阜のスナック(松久君達が常連)の美女とともに酌に活躍、「解剖」「塾歌斉唱」と皆高校時代に戻って友好を深めることができました。

次回は宝塚グランドホテル(大島君)を予定し、それまで皆さん仕事に頑張りました。

22期

「ニッパチ会 全員集合!」
28年生まれを中心とする22期の「ニ

紳士・婦人用品



田屋ナカニシ

- 銀座本店(紳士) 銀座5-7-12(みゆき通り)ニューメルサ1階西角 (571)3373
- 外商部(事務所) 東京都中央区銀座5-3-12杏番館ビル4階 (571)9055
- 新宿店(婦人) 新宿紀伊國屋ビル1階 (352)2947
- 池袋店(紳士・婦人) 池袋ショッピングパーク味の1番街 (983)5048

「ツパチ会」は、来年2月の第三土曜日に帝国ホテルにて予定通り行なわれます。出欠のハガキを1月に出しますので、同期の皆さんふるってご参加下さい。

日時： 平成2年2月17日(土) 18:00 ~ 21:00
場所： 帝国ホテル 本館B1 東京三田倶楽部
TEL 03-591-4228 会費： ¥10,000-
幹事： 秦 孝一 TEL 03-485-7106FIC

25期

昨年のホテルオークラでの第一回総会後、我が期では、①名簿の一層の充実、②第1回25期同期会開催の2点を目標に数回に亘り打ち合わせを行ってきた。

仕事の都合等によりなかなか会合の機会が設け難いが、来春頃にはこの2つの目標を実現すべく幹事2名に加え、数人の有志の方の助力を得て現在活動中である。名簿については25期卒業生の90%以上を把握すること、同期会には前総会の出席者数を上回る人員を動員することを是非とも達成したいと考えている。

同期の皆様、絶大なるご協力をお願いします。(25期幹事 高橋宣行・小川 洋記)

- 名簿代金未納の方、至急お振込下さい。
- 志木会の運営は会員皆様のお力により成り立っております。何卒ご協力お願い致します。

志木会レポート

志木高にパソコン贈呈

去る7月15日志木高にパソコンを贈呈いたしました。志木高の事務効率の向上と会の名簿管理等に貢献してくれるものと期待しております。

・機種 NEC PC-9801 RX2

・その他 ディスプレイ、プリンター、ワープロソフト、デスク、チェア一式

尚会の名簿管理等のソフトは目下作成中で、この会報がお手許に届く頃には稼動しているものと思います。近い将来には同期会・クラブ等の名簿の打ち出し、宛名ラベルの打ち出し等のサービス(有料)を予定しております。

編集後記

慶應志木会会報2号をお届けします。志木の地に青春の思い出を共有する8000名の同窓会員を結ぶ、会報の使命は重大です。より楽しく、より充実した会報にするために、皆様のご意見やアイデアをお寄せ下さい。

発足総会に参加した同期生達は一様に、楽しかった、こういう会をもっとやってくれと申しました。参加するかどうかは鍵です。福沢先生曰く、「鼠を捕らんと欲せば、猫より進む可し、鼠の来りて猫に触れたる例を聞かず。」

収穫祭でお会いしましょう。(馬)

慶應志木会会報 1989(秋・冬) ● vol.2

平成元年10月20日発行

編集・発行 慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

〒353 志木市本町4-14-1

発行人 櫻井英太郎

印刷 柳精興社

主役はこの100。

HY-PRODUCT
TEC-FLUSHER
2S-B(米国特許獲得)

走り系科学した無鉛ハイオクソリン
日石ダッシュルーサー-100

日本石油株式会社 東京地方支店
取締役支店長 櫻井英太郎

